

「地域政策コーディネーターを養成する大学院教育プログラム」  
2019年度開講科目概要

春学期				
授業科目	担任者(所属)	授業概要	曜限	キャンパス
<b>履修証明プログラム科目(必修科目)</b>				
セミナー実習Ⅰ	石田 成則、橋口 勝利、宮下 真一 (関西大学政策創造学部教授)	受講生自らが興味や関心のある地域社会における課題やテーマを題材として議論、討論する演習科目である。関連する情報についての吟味や利害調整の選択基準を確立して、そこから地域社会における諸課題への政策提言や政策選択できる能力を涵養する。単なるお仕着せの知識を付与するのではなく、考える力、自考する力を身に付けさせ、知的探求心の育成を目的に、自ら解決策を導き出す思考力や発想方法を付与する。	木7限	梅田
<b>履修証明プログラム科目(選択科目)</b>				
まちづくりと地域財政・福祉	足立 啓 (和歌山大学名誉教授、元関西大学教員) 鎌苅 宏司(大阪学院大学教授)	地方財政学の視点から自治体と地域コミュニティの望ましいあり方を考える。シャッター通り「消」店街、機能しない町内会、低い投票率を例に個人の利益と公共の利益の調和実現を図るリーダー人材の育成を考える。	火6限	梅田
<b>ガバナンス研究科科目</b>				
ガバナンス研究特殊講義 (地域活性化システム論研究)	橋本 行史(関西大学政策創造学部教授) 他	東京への産業人口の一層の集中が進む一方で地方の過疎衰退が進展し、地域活性化が喫緊の政策課題となっている。本講義は重要度を増す地域活性化のメソッドについて、事例研究を通じて多面的にアプローチする。担当教員には、ガバナンス研究科教員のほか、前国土交通省政策統括官、環境都市工学部の教員及びUOB、ならびに地域おこし協力隊で実践活動を行っている教員の計6名が当たり、文理融合型の授業として進行する。	月6限	千里山

秋学期				
授業科目	担任者(所属)	授業概要	曜限	キャンパス
<b>履修証明プログラム科目(必修科目)</b>				
セミナー実習Ⅱ	石田 成則、橋口 勝利、宮下 真一 (関西大学政策創造学部教授)	受講生自らが興味や関心のある地域社会における課題やテーマを題材として議論、討論する演習科目である。関連する情報についての吟味や利害調整の選択基準を確立して、そこから地域社会における諸課題への政策提言や政策選択できる能力を涵養する。単なるお仕着せの知識を付与するのではなく、考える力、自考する力を身に付けさせ、知的探求心の育成を目的に、自ら解決策を導き出す思考力や発想方法を付与する。	木7限	梅田
<b>履修証明プログラム科目(選択科目)</b>				
行政情報の分析と住民参加	鵜飼 康東(関西大学名誉教授) 田井 義人(摂南大学准教授)	住民サービス情報化の経過及び医療・介護分野において住民参加を目的として、行政が公助によって効果的な情報連携の仕組みを構築した市の事例等の考察によって少子高齢化社会における住民中心の情報化の方向性と有効性について考える。こうした理論と実態を通じて、「政策現場に生きるデータ分析」を会得する。	火6限	梅田
行政組織とリーダーシップ	亀田 健二(元関西大学教授) 小松 陽一(元関西大学教授)	地域社会における自治体や会社・団体における経営や組織、および関連する法律・規制について学習する。そのうえで、地域の事例を通じて社会問題や地域コミュニティの復興に果たす官と民の役割を学ぶ。	木6限	

※開講曜限は、講師の都合により変更になる場合があります。

<梅田キャンパス開講科目> 6限(18:30~20:00)、7限(20:00~21:30)  
<千里山キャンパス開講科目> 6限(18:00~19:30)